

耐震改修案について

目次

1. 前回委員会後の検討状況
2. 耐震改修案について
 - (1) 耐震改修案
 - (2) 前回鉄骨柱案からの主な変更点
- (参考) 基本設計からの主な変更点

1. 前回委員会後の検討状況

第2回検討委員会にて提示した案1（構造用合板）、案2（鉄骨柱）より改修案を固めるため、以下のとおり検討を実施

検討項目

- ① 耐震補強の現状詳細調査とその結果による検討
- ② 開口部（障子、襖）の補強方法の検討

①耐震補強の現状詳細調査とその結果による検討

床下と小屋組の詳細調査の実施
→床下・小屋組の支持方法（基礎、梁、接合方法等）の再検討

- ・床下の収まりに合わせ、支持方法を有効な礎石＋基礎で検討。
- ・基礎等は現状に適した最小限範囲とし、施工性の確保を検討。
- ・現状及び支持方法の変更に合わせ小屋組、仕口補強の検討。

②開口部（障子、襖）の補強方法の検討

現状意匠を保存する開口部補強の検討
→意匠に支障にならない範囲での耐力要素の再検討

- ・開口部を保存するため、内側に耐力壁の設置を検討。
- ・開口部保存に有効な鉄骨柱補強の納まり、意匠、施工性等の詳細検討。



施工性に大きな差はなく、前回の委員会において意匠面で高く評価いただいた案2を基本とする耐震改修案を今回提示

① - 1 掬月



南縁側 外部鉄骨柱 100角



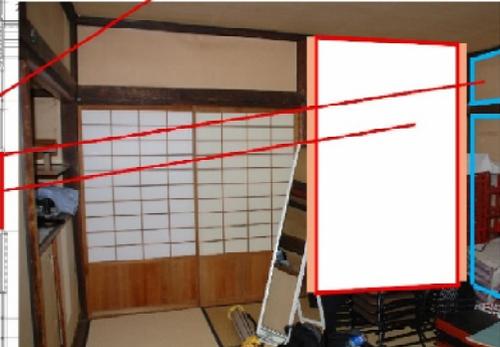
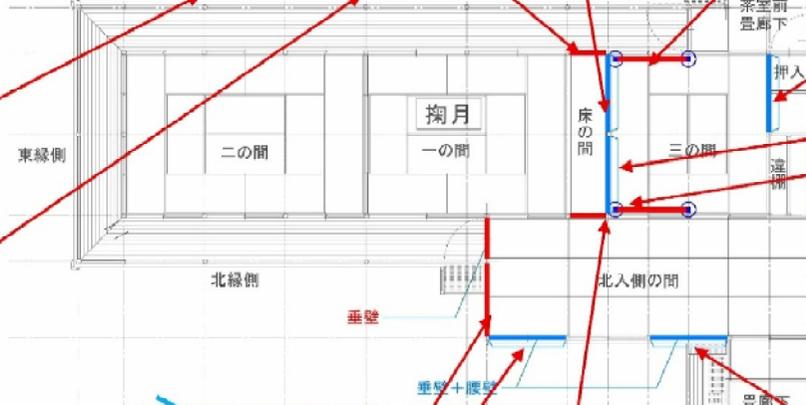
一の間 床の間 構造用合板壁、斜め木摺壁



三の間 構造用合板壁、リ・わ通り斜め木摺壁



外部鉄骨柱 100角 一の間から



三の間 構造用合板、斜め木摺壁

凡例

- : 補強壁 構造用合板
- : 補強壁 斜め木摺壁
- : 新規木柱 □105 ヒノキ
- : 鉄骨柱 100角又は125角

北入側の間
構造用合板
斜め木摺壁



北入側の間
構造用合板
斜め木摺壁

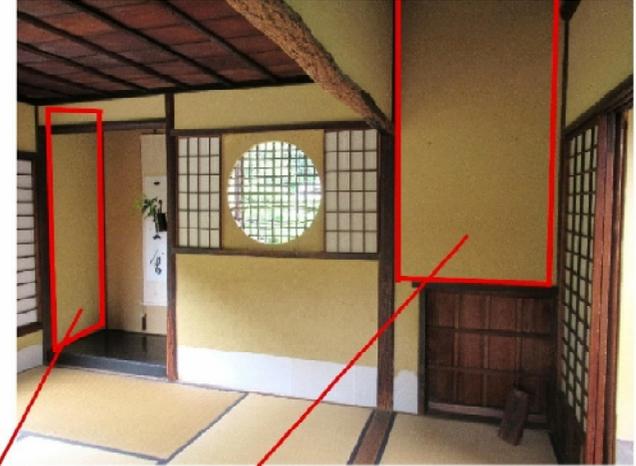


① - 2 茶室



6 通り 構造用合板

わ通り 構造用合板 フカシ壁



1 通り 構造用合板

た' 通り 構造用合板



凡例

- : 補強壁 構造用合板
- : 補強壁 斜め木摺壁
- : 新規木柱 □105 ヒノキ
- : 鉄骨柱 100角又は125角



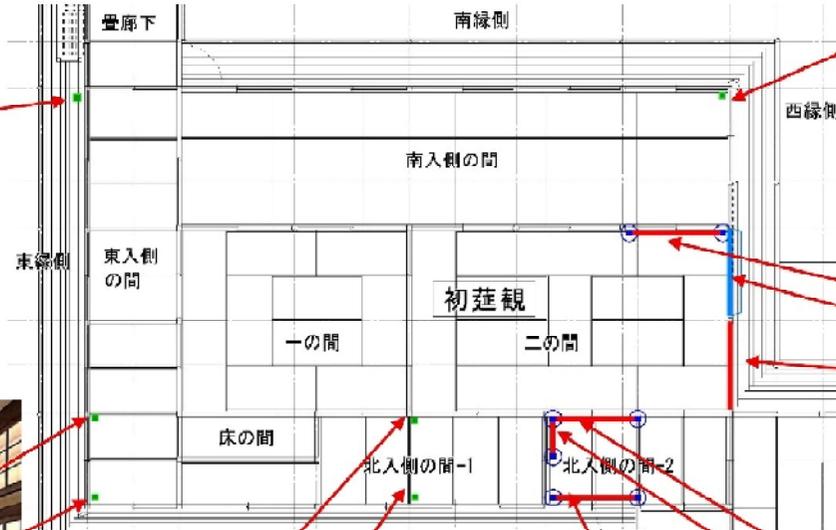
た' 通り 構造用合板

① - 3 初庭観

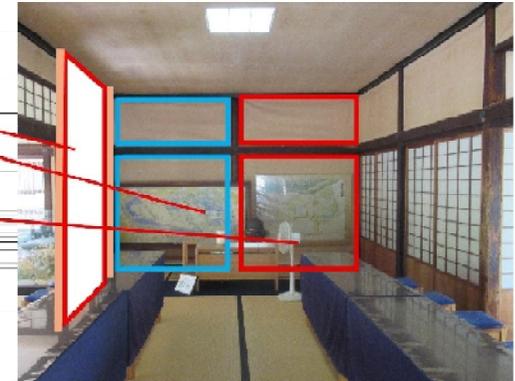


東縁側 鉄骨柱 125角

- 凡例
- : 補強壁 構造用合板
 - : 補強壁 斜め木摺壁
 - : 新規木柱 □105 ヒノキ
 - : 鉄骨柱 100角又は125角



南入側の間
鉄骨柱 100角



二の間 斜め木摺壁
構造用合板



東入側の間 鉄骨柱 100角 2ヶ所



北入側の間-1 鉄骨柱 100角 2ヶ所



北入側の間-2 構造用合板

① - 4 初筵観北棟



中の間 お通り 襖 構造用合板

凡例

- : 補強壁 構造用合板
- : 補強壁 斜め木摺壁
- : 新規木柱 □105 ヒノキ
- : 鉄骨柱 100角又は125角



南の間 鉄骨柱 125角



畳廊下
構造用合板



北の間 鉄骨柱 125角

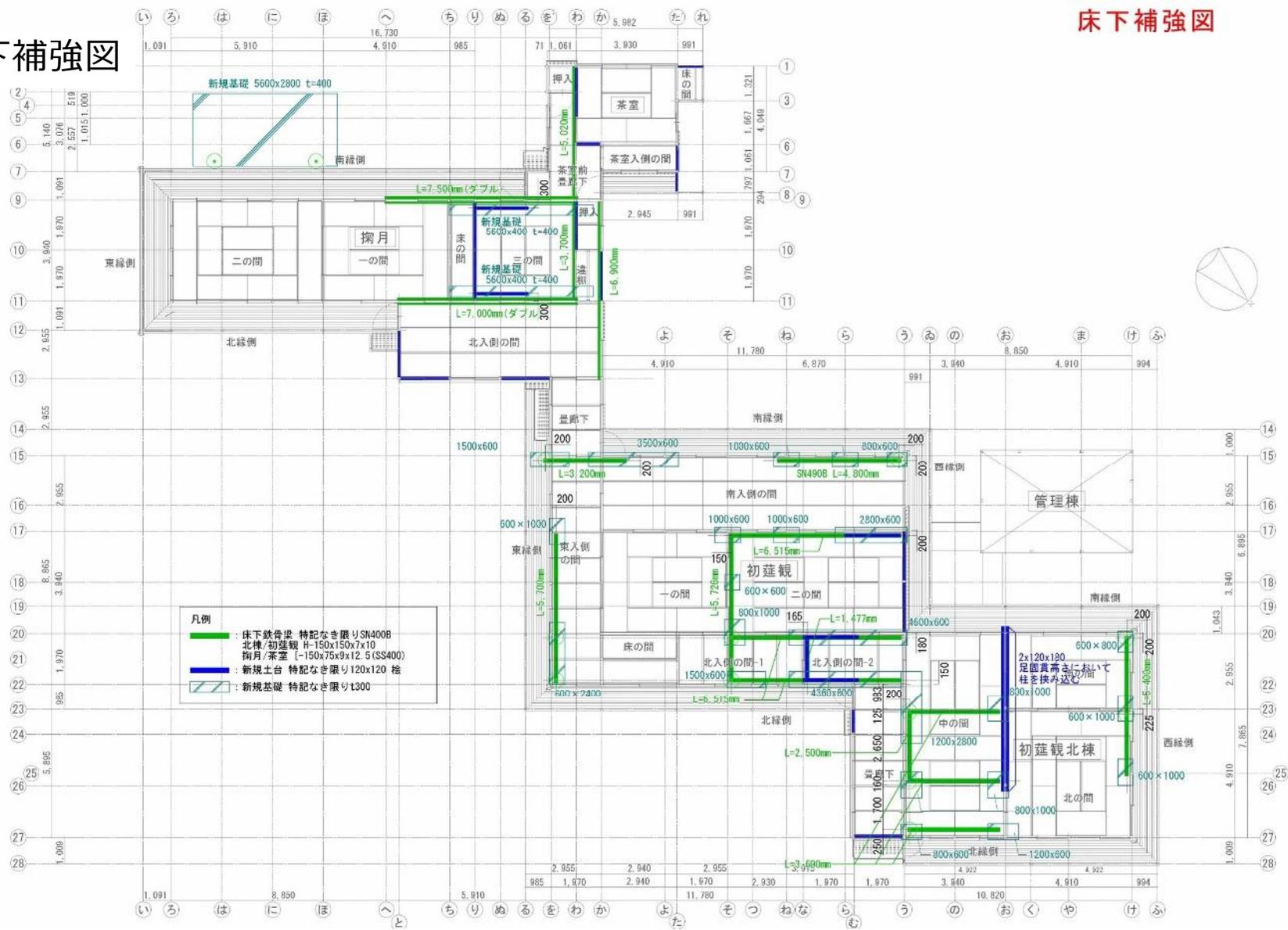


中の間 鉄骨柱 125角

畳廊下 斜め木摺壁

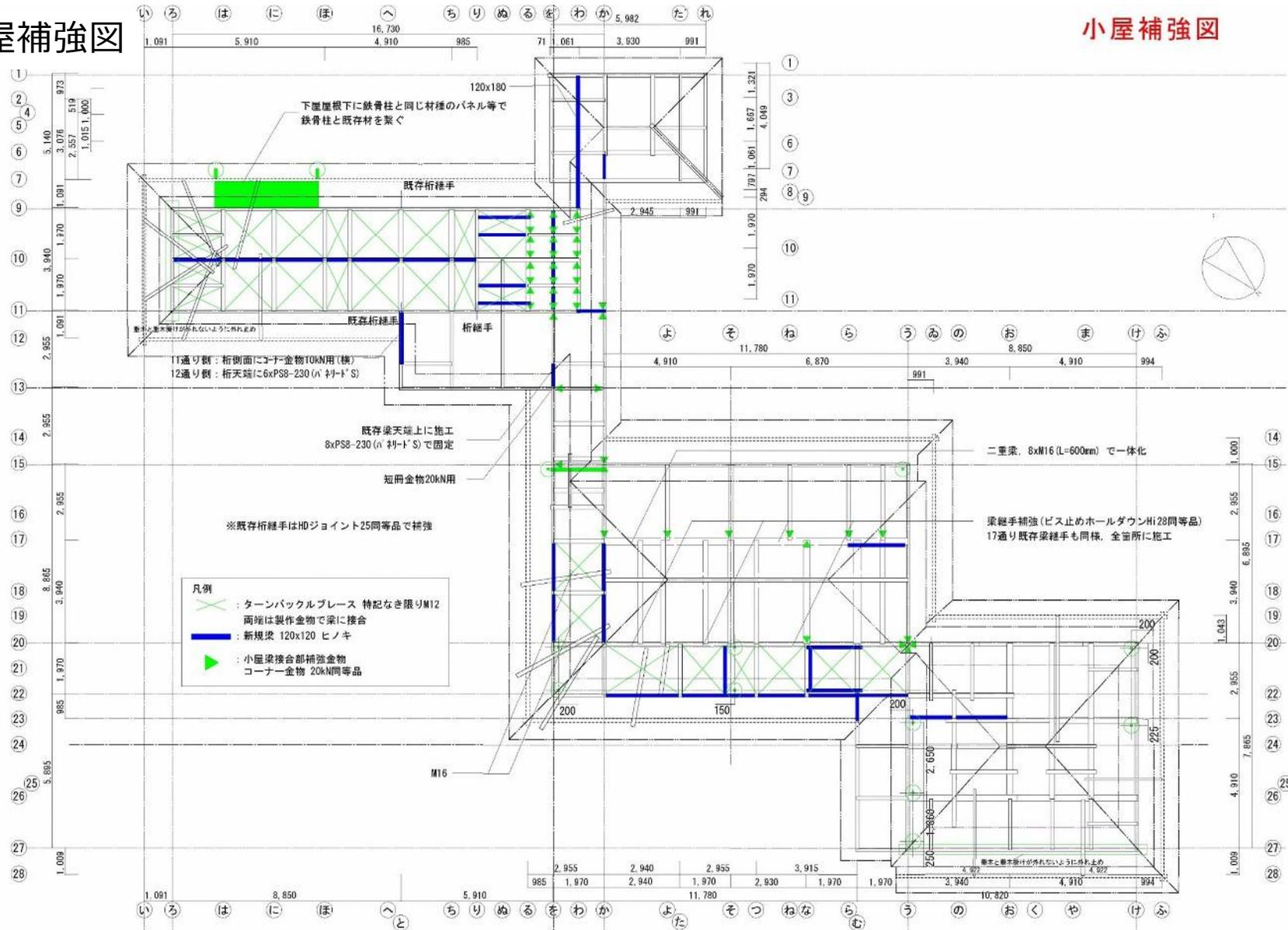
床下補強図

② 床下補強図



③ 小屋補強図

小屋補強図



(2) 前回鉄骨柱案からの主な変更点

① 掬月

- ・ 障子を耐力壁に置き換え → 内側に耐力壁を設置 (障子保存)
- ・ 床下補強 → 鉄骨梁、基礎の追加

② 茶室

- ・ 床下補強 → 鉄骨梁の位置

③ 初筵観

- ・ 障子を耐力壁に置き換え → 内側に耐力壁を設置 (障子保存)
- ・ 床下補強 → 鉄骨梁、基礎の位置

④ 初筵観北棟

- ・ 床下補強 → 鉄骨梁、基礎の位置

(参考) 基本設計からの主な変更点

① 掬月

- ・ 障子を耐力壁に置き換え → 内側に耐力壁を設置 (障子保存)
- ・ 床下補強 → 鉄骨梁、基礎の追加

② 茶室

- ・ 床下補強 → 鉄骨梁の追加

③初筵観

- ・ 縁側障子を耐力壁に置き換え → 鉄骨柱に変更（障子保存、採光確保）
- ・ 耐力壁を新設 → 鉄骨柱に変更（意匠確保）
- ・ 障子を耐力壁に置き換え → 内側に耐力壁を設置（障子保存）
- ・ 床下補強 → 鉄骨梁、基礎の追加

④初筵観北棟

- ・ 縁側障子を耐力壁に置き換え → 鉄骨柱に変更（採光確保）
- ・ 欄間のある襖を耐力壁に置き換え → 鉄骨柱に変更（欄間、襖保存）
- ・ 床下補強 → 鉄骨梁、基礎の追加